

第二章活用事例

「日本の近代建築に魂をこめて」

— 辰野 金吾 —

中学校版

「心みつめて」

p.48
～
p.55

【主題名】 理想の実現

1-4 「真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。」

【ねらい】 自分の生きる道を求め、理想の実現を目指して、力強く積極的に自己の人生を切り開こうとする態度を育成する。

《ねらいに関する道徳的価値について》 中学生の時期は、社会への関心が高まり自分の将来への理想もふくらんでいきます。一方で、理想と現実との違いを感じて投げやりになってしまったり、困難に直面するときにあきらめてしまったりする場面も見られます。謙虚に学び続けることや実直に努力し続けることの尊さに気付かせ、理想の実現を目指し積極的に生きていこうとする意欲を育むことが大切です。



「この建物を知っていますか。この建物を見て、どのようなことを感じますか。」

導入

○ 「心みつめて」 p.42 ～ p.43 「東京のアルバム」の東京駅の写真を活用し、資料への導入を図る。

○ 教師が「日本近代建築に魂をこめて」を範読する。



「東京中央停車場の設計を任せられたとき、金吾はどのような気持ちだっただろうか。」

○ 「両手を挙げて万歳を連呼しながら」といった部分に着目させ、人が人生をかけて実現しようとするものと出会えたときの喜びや意欲に気付かせる。



「決定していた最新の建築様式を変更してまで、金吾が鉄筋煉瓦造にこだわったのは、なぜだろうか。」

○ 進歩だけでなく、すべての建物と街が一体となった美しい景観を目指し、自分の理想を実現しようとする金吾の建築家としての精神や志に気付かせる。

中心発問



「周囲の建築家からの厳しい批評にもかかわらず、金吾が完成した赤煉瓦の駅舎を前に満足感と自信に満ちあふれた顔だったのは、なぜだろうか。」

○ 金吾の「満足感」や「達成感」が、何によってもたらされているのかを捉えさせ、後悔のない生き方について考えさせる。また、息を引き取る寸前に「万歳」と叫んだ金吾の心情に触れ、自分の人生に満足できる生き方についても考えさせたい。



「悔いのない、すばらしい一生とはどのようなものだろうか。」

○ 高い理想や志をもって生きることや、目標の達成に向けて努力し続けていくことの大切さに気付かせる。

終末

展開

○ 教師の説話を聞き、「心みつめて」 p.54 の「心に残ったこと」をメモしよう」に記入する。

○ 夢や理想の実現に向けて積極的に生きること、道は必ず開けるといふことについて、教師が説話する。

○ 理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていく生き方の素晴らしさに気付かせることによって、自己の人生を切り開いていこうとする態度を育ませる。

板書例

日本の近代建築に魂をこめて

— 辰野 金吾 —

東京駅の写真

東京中央停車場の設計を任せられたとき、金吾はどのような気持ちだっただろうか。

- 念願の仕事を手に入れた喜びでいっぱいになっている。
- 日本を近代国家にする夢を一日でも早く実現させたい。
- 後世に残るような立派な建物を造りたい。
- イギリスで学んだことを生かして、本格的な洋館を建てたい。

決定していた最新の建築様式を変更してまで、金吾が鉄筋煉瓦造にこだわったのは、なぜだろうか。

- 曾禰さんが造った、美しい赤煉瓦の街並みと一体となる駅にしかたかったから。
- 最先端の技術を用いることだけが、本当の近代化ではないと思ったから。
- 赤煉瓦の街並みに込められた、新しい日本を築こうという精神を大切にしかたかったから。

丸の内の景観の写真

周囲の建築家からの厳しい批評にもかかわらず、金吾が完成した赤煉瓦の駅舎を前に満足感と自信に満ちあふれた顔だったのは、なぜだろうか。

- 信念を貫き、自分にできる最大限のことをやり遂げたから。
- 今までの数々の努力が実ったから。
- 自分の理想を実現することができたから。

悔いのない、すばらしい一生とはどのようなものだろうか。

- 理想の実現のために最後まで全力で突き進んでいく人生。
- 「これをやり遂げる」というものをもち、その実現のために毎日を充実させていく人生。
- 理想をもち続け、努力を惜しまず、自分の決めた道をまっすぐに歩いていく人生。

《評価》 理想の実現を目指して、力強く積極的に自己の人生を切り開いていこうとする態度を育むことができたか。